

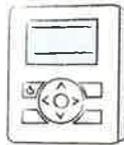
事業者  
の皆様

# 夏季の省エネ

に取り組みましょう

全オフィスで消費電力の1%を節電すると、  
毎日、家庭約16万世帯が消費する電力と同程度のエネルギーが削減できます。

## 冷房の省エネ対策



- ✓ 執務室の冷やしすぎに注意し、無理のない範囲で室内温度を上げる。

省エネ効果  
約4%

- ✓ 日中の日射を避けるために、ブラインド、カーテン、遮熱フィルム、ひさし、すだれを活用する。

約4%

- ✓ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、空調を停止する。

約2%

## 照明の省エネ対策



- ✓ 可能な範囲で執務室や店舗エリアの照明を間引きする。（省エネ効果は照明を半分程度間引きした際の数値）

省エネ効果  
約13%

- ✓ 使用していないエリア（会議室、休憩室、廊下等）は、消灯する。

約3%

## 機器の省エネ対策



- ✓ 長時間離れるときは、OA機器の電源を切るか、スタンバイモードにする。

省エネ効果  
約4%

## その他の省エネ対策

- ✓ 自動車を利用する場合には、エコドライブ10のすすめを実践する。（ふんわりアクセル、減速時は早めにアクセルを離す、無駄なアイドリングはしない等）



- ✓ 暖房便座は使用状況を確認し、夏は便座や水の温度設定を「切」にする。



- ✓ 電気ポットを使わないときは、電源をオフにする。



※「省エネ効果」は標準（0784）のオフィスの電力消費量に対する省エネ効果の概算値で、地域・時間等による違いを考慮に入れた全国平均の数値です。地域・時間等により省エネ効果は変動します。

経済産業省では、企業・家庭向けの省エネ支援を強化しています。  
企業には省エネ設備への更新や省エネ診断、家庭には高効率給湯器の導入などを支援しています。詳細は「省エネポータルサイト」をご覧ください。



経済産業省  
資源エネルギー庁  
Agency for Natural Resources and Energy

省エネポータルサイト

検索